



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



平成28年7月15日

国土交通省中部地方整備局
中日本高速道路株式会社



— 記者発表資料 —

しんめいしん

新名神高速道路

よっかいち

四日市JCT～新四日市JCT

しんよっかいち

とうかいかんじょう

東海環状自動車道

しんよっかいち

新四日市JCT～東員IC間が

とういん

8月11日（木：祝）15時に開通

開通区間は東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車道と接続し、
地域間交流や企業活動を支援するストック効果※が期待

※ストック効果：整備された社会資本が機能し継続的に発揮される、生産性向上等の効果

<開通による主なストック効果>

○港湾への所要時間短縮

開通区間周辺には多くの企業が集積

名古屋港及び四日市港までの所要時間が約20分短縮し物流が効率化

○立地企業の輸送における生産性向上

所要時間の短縮により輸送における生産性向上（約1割向上）に期待

○沿線地域の開発支援

沿線地域（いなべ市）の企業立地件数は平成9年から約4倍

さらなる沿線地域の開発拡充による、地域経済活性化に期待

※開通式典の概要については、後日お知らせいたします。

記者発表クラブ

国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、
中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、三重県政記者クラ
ブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

中日本高速道路株式会社 広報室 TEL：052-222-3628

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所 TEL：059-363-5511（代表）

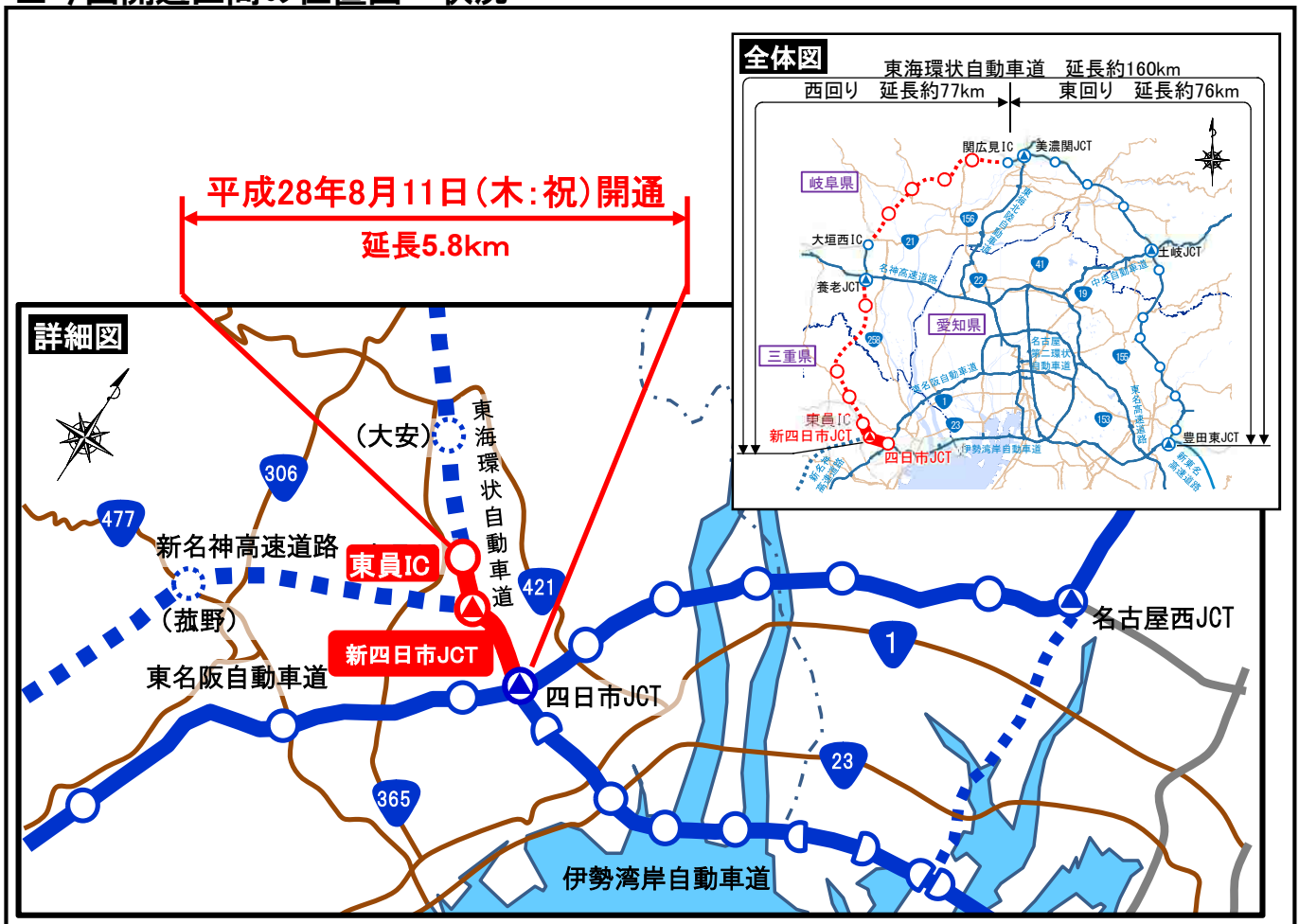
副所長 深谷 亘 計画課長 小川 喜睦

開通区間概要

- 新名神高速道路は、新東名高速道路と一体となって東京・名古屋・大阪の三大都市圏を相互に結び、人の交流と物流を支える大動脈として日本経済をけん引するとともに、東名・名神高速道路の代替機能を果たす上で不可欠な路線です。延長約174kmのうち、現在までに約60kmが開通しています。
- 東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、新東名・新名神高速道路や東名・名神高速道路等と一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格幹線道路です。現在までに約82kmが開通しています。
- 今回開通区間の概要

路線名	近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)
開通区間	四日市JCT <small>よっかいちし いさかちょう あぶみだに</small> (三重県四日市市伊坂町字鎧谷) ~ 新四日市JCT <small>よっかいちし きたやまちょう なかのやま</small> (三重県四日市市北山町字中ノ山)
延長/車線数	4.4km / 4車線
路線名	一般国道475号 東海環状自動車道
開通区間	新四日市JCT <small>よっかいちし きたやまちょう なかのやま</small> (三重県四日市市北山町字中ノ山) ~ 東員IC <small>いなべぐん とういんちょう ながふけ ぬくい</small> (三重県員弁郡東員町大字長深字抜井)
延長/車線数	1.4km / 2車線

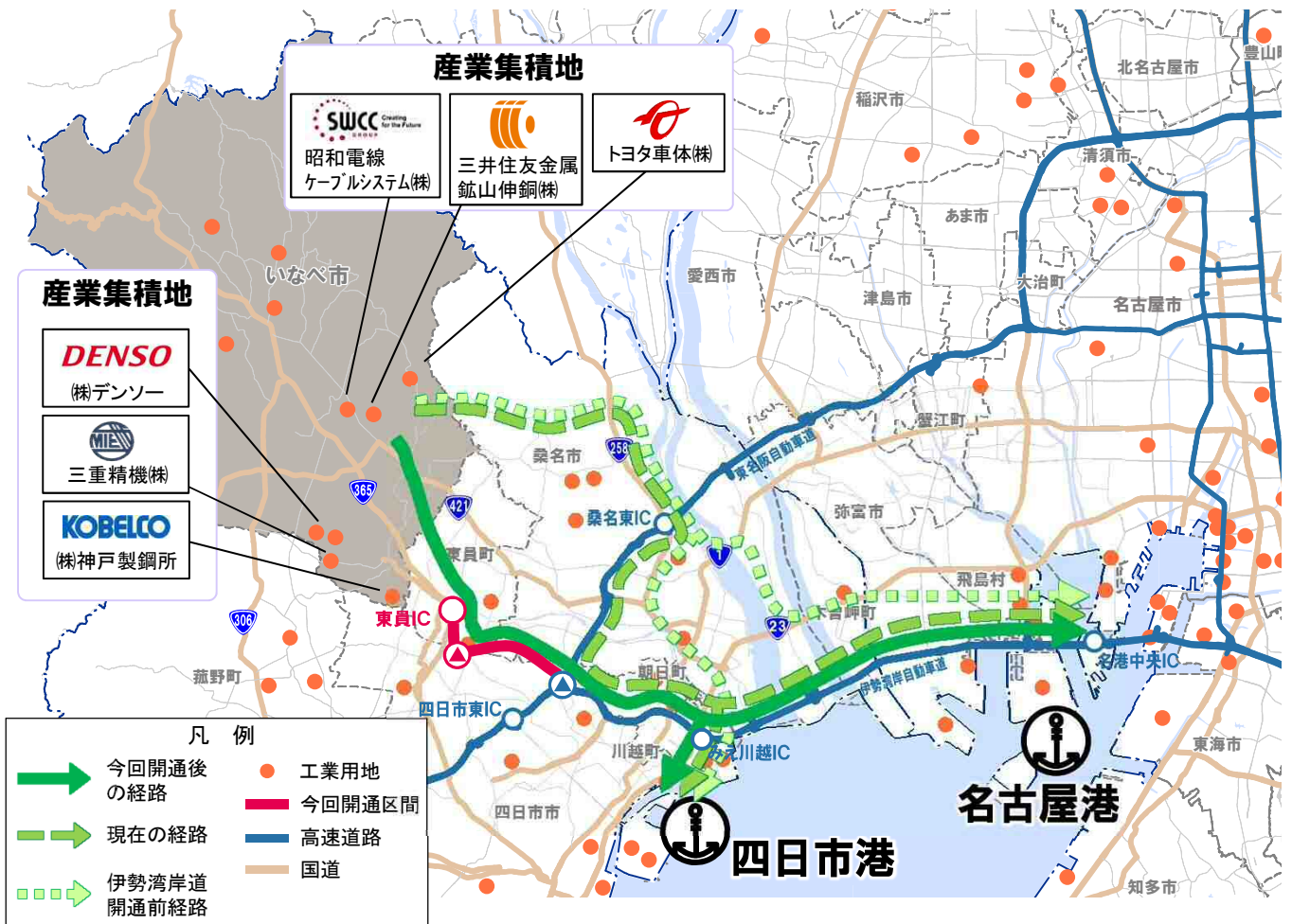
■今回開通区間の位置図・状況



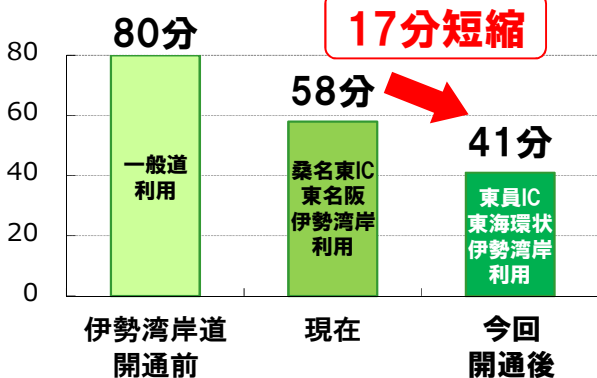
ストック効果① 港湾への所要時間短縮

- いなべ市内には多くの企業が立地する工業用地が集積しています。
- 伊勢湾岸道のH17.3開通により、いなべ市内の産業集積地から名古屋港及び四日市港までの所要時間が60分以内に改善しています。
- 今回の開通により、最寄りICが東員ICになり、いなべ市内の産業集積地から名古屋港及び四日市港までの所要時間が約20分短縮されるなど物流効率化が期待されます。

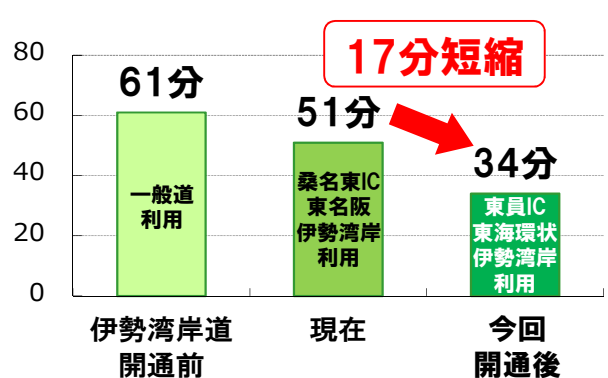
■ 産業集積地の分布と名古屋港・四日市港までのアクセス経路の変化



○いなべ市～名古屋港の所要時間



○いなべ市～四日市港の所要時間



データ：民間プローブデータによる混雑時所要時間

ストック効果② 立地企業の輸送における生産性向上

- 大安IC周辺に立地するA社では、岐阜方面、名古屋・三河方面に毎日多くの物流車両で完成車や部品を輸送しています。
- 今回の開通により三河方面の輸送の所要時間が短縮され、輸送における生産性向上への寄与・物流コストの削減が期待されます。

■ A社の完成車・部品の物流状況



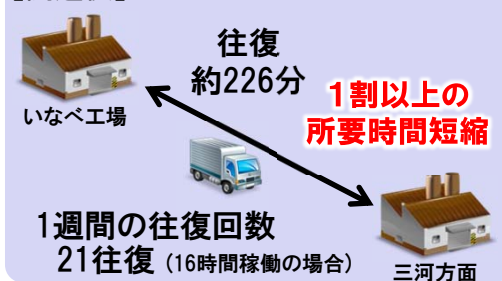
■ 今回の開通により期待される効果

【現状：開通前】



17分短縮

【開通後】



所要時間短縮による運行効率の向上

- 4,000便/週に必要な車両台数(国土交通省試算)

【現状：開通前】

4,000便 ÷ 18往復 ⇒ 必要台数: 223台

【開通後】

4,000便 ÷ 21往復 ⇒ 必要台数: **191台**

約1割削減

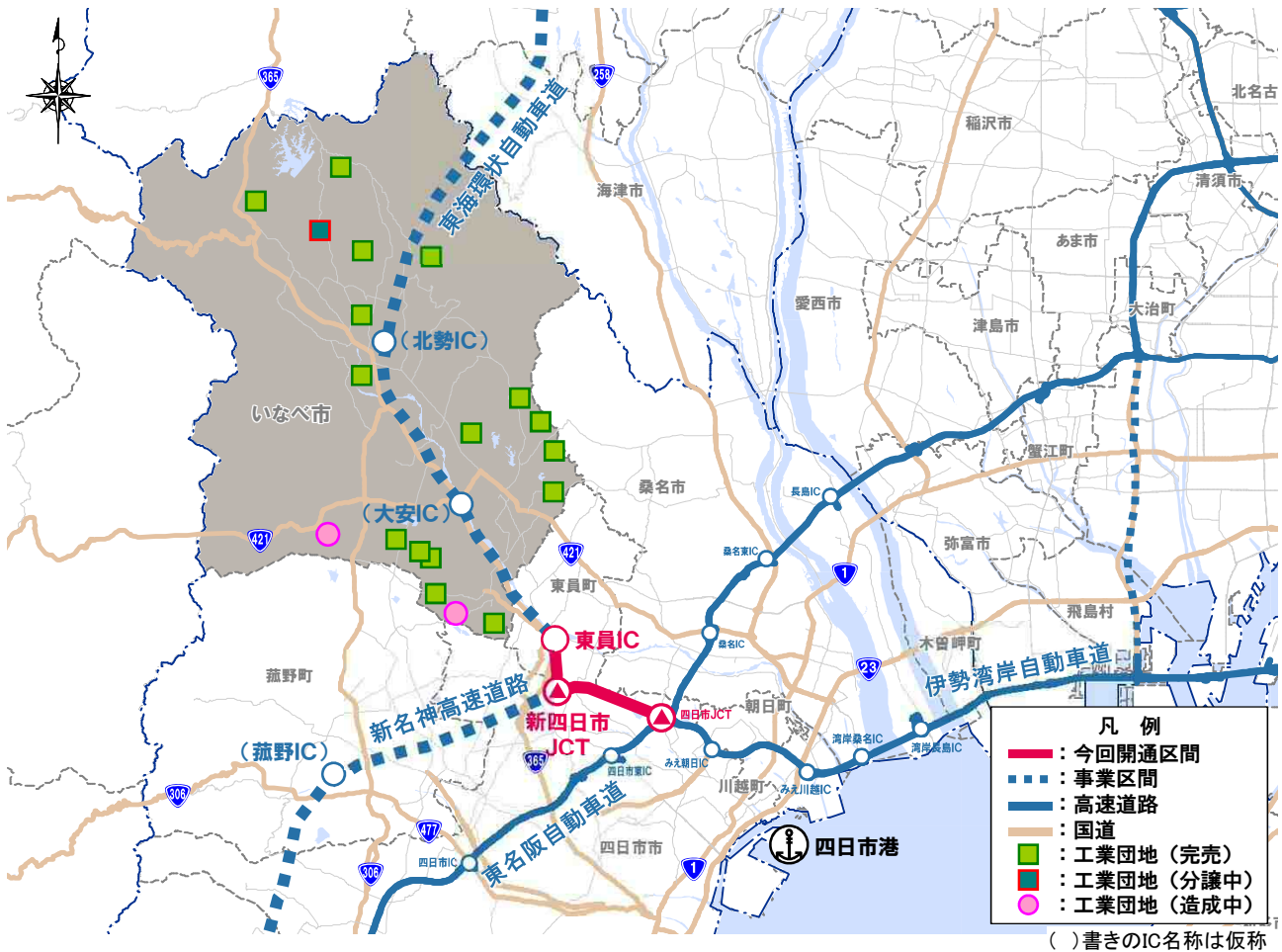
**輸送における
生産性が向上**

ストック効果③

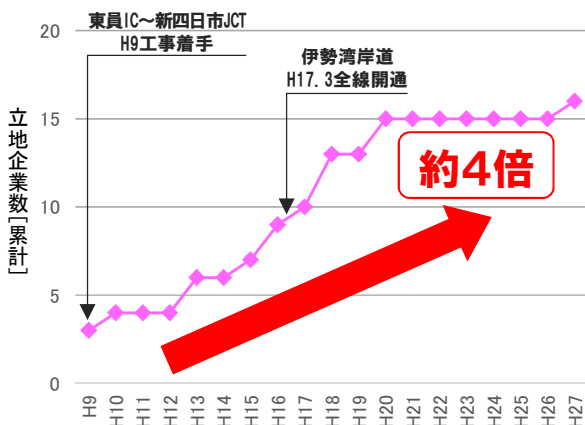
沿線地域の開発支援

- 新名神高速道路・東海環状沿線地域(いなべ市)では、高速道路ICからの利便性が向上することから、平成9年の工事着手から現在までに、新たな工業団地の立地による開発拡充が確認できます。(企業立地件数は、平成9年から約4倍)
- 今回の開通により、さらなる沿線地域の開発拡充により、地域経済活性化が期待されます。

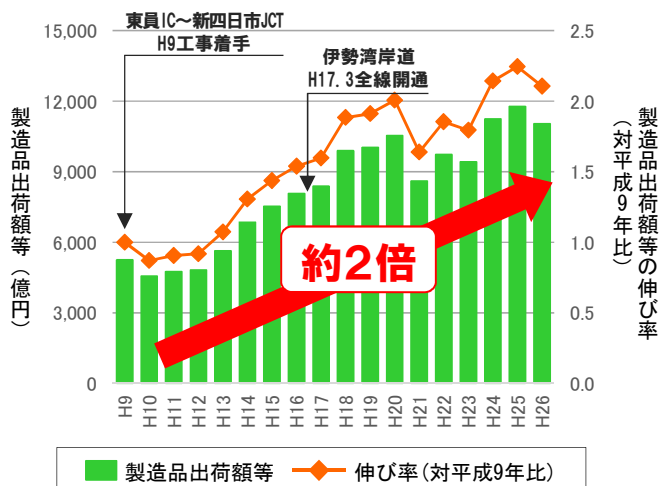
■新名神高速道路・東海環状自動車道沿線地域の工業団地の立地状況



○いなべ市の立地企業数の推移



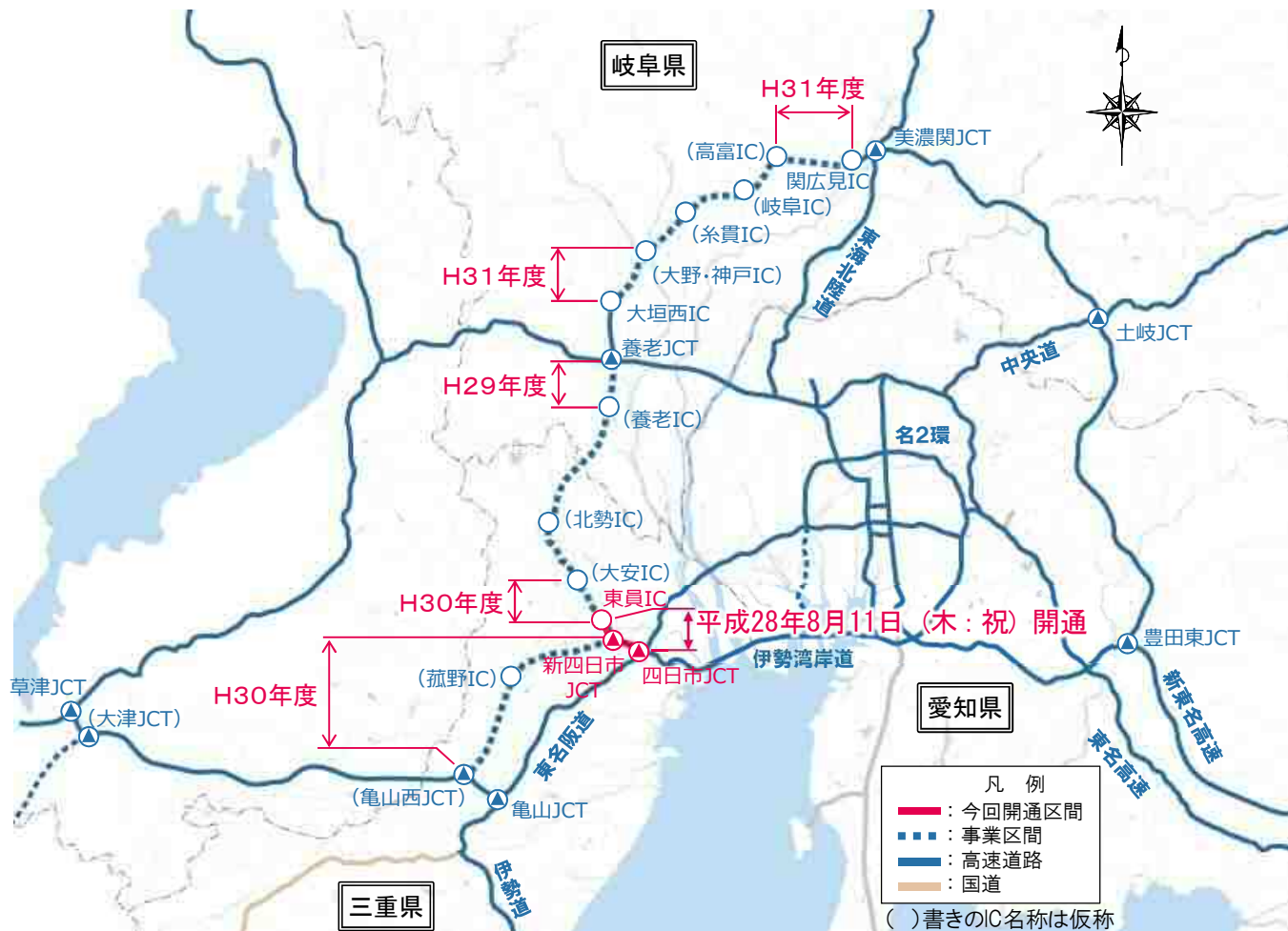
○いなべ市の工業製造品出荷額等の推移



出典:工業統計調査

今後も広がるネットワーク

- 新名神高速道路及び東海環状自動車道では、今回の開通に引き続き、今後も開通を予定しています。
- 更なる高速道路ネットワークの広がりにより、中部圏のものづくり産業を支援します。



【東名阪道の渋滞状況】



■ 新名神に並行する東名阪道では、渋滞の緩和が期待されます

【沿線に進む企業立地】



■ 東海環状自動車道の西回り区間では、企業立地が進展しています

今回開通区間の料金

■東員ICと主要IC間の料金表

○通常料金

(距離:km、料金:円)

道路名	IC名	距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
東名阪自動車道	名古屋西	29.1	790	950	1,110	1,460	2,330
	四日市	14.7	480	570	650	830	1,270
	亀山	35.7	930	1,120	1,320	1,750	2,810
伊勢自動車道	松阪	70.4	1,670	2,050	2,420	3,270	5,340
	伊勢	104.1	2,370	2,920	3,470	4,710	7,760

※ 上記は主要IC間の通常料金のみを表示しています。上記以外のIC間の料金や割引後の料金については、NEXCO中日本公式Webサイトで改めてお知らせいたします。

■ETC割引の適用について

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時までの間に対象となる道路を走行。30%割引。
平日朝夕割引 (後日還元型)	ETCマイレージサービスに事前登録したETCクレジットカード又はETCパーソナルカードを利用し、6時～9時までの間、または、17時～20時までの間に入口または出口料金所を通過。朝、夕それぞれ最初の1回に限り適用。最大100km走行分まで最大50%を後日還元。 ※月毎の割引対象となる利用回数に応じ還元率を設定。無料走行分として後日還元。
休日割引	土日祝日の0～24時の間に対象となる道路を走行。軽自動車等または普通車のみ対象。地方部区間のみ30%割引。

※割引後の料金は四捨五入により10円単位の端数処理を行いますので、割引率が異なる場合があります。
※各割引の適用条件やその他の割引等の詳細については、NEXCO中日本公式Webサイトをご確認ください。